

県技能士会連合会20周年記念式

一致結束で難局打開

さらなる発展を誓う

鹿児島県技能士会連合会設立20周年記念式 祝賀会



20周年を記念して祝辞を述べる森山会長
＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

策に取り組み、着実な成果を残しているものの、ものづくり離れや熟練技能者の減少が懸念されており、若者への技術の継承が課題である。共に協力・連携を図りながら社会のニーズに応えていく」と祝辞を寄せた。

続いて、富永文治常務理事が設立当初から20年間の活動経過を振り返った後、長年の功績を称えて元会長の前田茂氏（代理）と前会長の福永好森氏に感謝状を贈呈。これに答えて福永氏が「身に余る光栄。更なる発展を期待しています」と謝辞を述べた。

祝賀会では、肥後勝司副会長が「我々が組織をあげて難局を打破していく」と挨拶の後、加治佐幸子県労働政策課長補佐の乾杯の音頭で宴に入り、出席者らは思い出話に花を咲かせながら杯を酌み交わし、最後に郷原和壽副会長の万歳三唱で締めくくった。

同連合会は、会員相互の協調と技術水準の向上を図り、信頼される技術士としての自覚と責任を高め、産業の発展と技術者の社会的地位の向上と福祉の増進を目的に昭和57年に設立。これまでに「かごしま技能競技大会」「ジュニアマイスター」技能まつり、各種技能検定などを実施してきた。現在、会員27団体、賛助会員12団体となる。



欠陥住宅の講義に聴き入る建築士
＝鹿児島市の県市町村自治会館で

青年部の結束を将来に

坂之上 靖郎さん

九州板金工組協議会青年部研修会を鹿児島で初めて開催、本県板金工組青年部員20人と若手有志が一丸となり、準備から運営、相互連絡に奔走、何とか無事終えることができた、青年部長としてホッとしています。

各県青年部員が参加目などの後継者が多数。親である事業主間の交流は盛んですが、若者同士の面識は意外に少ないようです。今回、板金の青年部員らが一堂に会したことは、将来の事業運営に必ず生かされるものと思っております。

（南坂之上板金塗装）

語り合い、終始和やかな雰囲気であつた。会員間の更なる親睦を深め合った。

建築士の指定定期講習会

実務的知識で講義

県建築士会

県建築士会主催の建築士のための指定定期講習会（第4期）は3日、鹿児島市の県市町村自治会館で開き、5人の講師が建築士に関わる法制度、技術的知識や欠陥住宅への対処法などを講義した。

講習会には、県内の建築士約350人が出席。午前中、業務上不可欠な法制度の動向、契約への対処、仕様書・見積りへの対処など技術的な知識を学んだ。

午後からは、今村裕氏（㈱アシスト設計）が欠陥住宅を造らないための設計・施工者のための設計・施工者の

説明責任、瑕疵原因の情報公開、長期の性能保証、既存建築物を長期的に活用できる法制度の整備を課題として挙げた。

このほか、木造建築の構造設計、既存戸建住宅の耐震性の評価、耐震構造と免震構造など実務的な内容の講義が行われた。

県建築士事務所協会南薩支部（中野昭郎支部長）は1月31日、加世田市のあけぼの旅館で、支部恒例の新年会を会員と賛助

一致団結し苦境打破

会員ら約25人が参加して開き、相互の更なる親睦を深めた。

開宴に先立ち、中野支部長が「業界を取り巻く環境は依然として厳しいものがあるが、会員相互で知恵を出し合い一致団結し、苦境を乗り越えていきたい。限られた時間ではあるが、今夜は仕事を忘れてゆっくりと飲みたい」と挨拶。

続いて、指名を受けて㈱浜村建材店の安田武弘営業部長が、乾杯の音頭に先立ち「今後、地域活性化のために力を合わせて頑張っていこう」と挨拶した後、同氏の力強い一声で乾杯し歓談に入

建設管理センター

施工管理ポイント

国土交通省資格の施工管理技術士取得などで現在までに20万人の合格者を輩出、全国ネットで20年間の実績をもつ建設管理センターは1月28日、施工管理技術士取得のための「合格対策講座（計9回）」（厚生労働大臣指定教育訓練講座）を鹿児島市の県市町村自治会館で開き、

向けて熱心に聴講していた。第1回目の今回は、「建設業法・施工計画」に関する講義があり、主催者挨拶の後、同センターの専任講師で全国50会場を飛び回っている奥田恵利矢氏がオリジナルテキストを活用し、施工管理技術士試験のポイント

近い将来の展望などについて説明した。その中で、公共事業を発注する側も一定のレベルを維持するため、国家資格として施工管理技術士資格が不可欠であると強調するとともに、自らの体験等を踏まえユーモアを交え講義した。

同センターでは、今回参加できなかった受講希望者に対し3月7日からスタートするコースを設け、受講者の受け付けを

料の80%を国が負担する「教育訓練給付制度」の利用を促している。支給対象は、雇用（失業）保険の被保険者期間が通算5年以上の者。例えば1級土木施工管理技術士研修会の受講料は15万7500円だが、同制度を利用すると本人負担は3万1500円で済む。

問い合わせ先は、同センター（フリーダイヤル0120・14・5353、全国共通受講案内）。

工管理技術指定試験合格に向け開かれた講座
＝鹿児島市の県市町村自治会館で

建設管理センターは1月28日、施工管理技術士取得のための「合格対策講座（計9回）」（厚生労働大臣指定教育訓練講座）を鹿児島市の県市町村自治会館で開き、向けて熱心に聴講していた。第1回目の今回は、「建設業法・施工計画」に関する講義があり、主催者挨拶の後、同センターの専任講師で全国50会場を飛び回っている奥田恵利矢氏がオリジナルテキストを活用し、施工管理技術士試験のポイント

近い将来の展望などについて説明した。その中で、公共事業を発注する側も一定のレベルを維持するため、国家資格として施工管理技術士資格が不可欠であると強調するとともに、自らの体験等を踏まえユーモアを交え講義した。

同センターでは、今回参加できなかった受講希望者に対し3月7日からスタートするコースを設け、受講者の受け付けを



相互の親睦を深め合った新年会
＝加世田市のあけぼの旅館で

県建築士事務所協会南薩支部（中野昭郎支部長）は1月31日、加世田市のあけぼの旅館で、支部恒例の新年会を会員と賛助

建設機材のレンタル・リース

中央仮設

鹿児島市伊敷町6713-3 ☎(099)229-5900

鹿児島(099)243-4633 串木野(0996)32-4161
大空(09952)6-1788 出水(0996)82-3111
港(0995)43-1500 南薩(0993)57-3465
鹿屋(0994)40-1775 金峰(0993)77-0353

お手軽で便利な
購読料のお支払いは

自動振替で

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ